



折田雄一先生に捧ぐ

医師 園 真廉



この夏、図書館から一冊の書を取り寄せた。題して『折田医院月報三十年 人間探求の旅』。近江八幡市で数年前まで医業を営まれていた氏が、患者や医療者との関係に心を砕かれた生き様を刻んでいる。面識もないわたしが一方的に「捧げて」しまった。この夏の経験を象徴しているように感じられ、敬意の現れである。お許しいただきたい。ここではその経験を参照文献の一覧とともに分かち合いたい。



経験を一言で表現すると、人が人として人に向き合うこと、その恐ろしいほどの単純明快さ故の難しさ、である。人が役割分担しようとする時、なぜか、人間の想像がつくりあげた身分や優劣の区分がつきまとう。人間存在に埋め込まれた弱さ故だろう。確かに共通の目的のために便宜上、役割分担する場合がある。しかし、役割分担と身分や優劣の区分の関係は必然ではない。

これを健康という領域に当てはめて見てみたい。患者と医療者というそれぞれの役割と両者の間の関係性が便宜上存在する。

類似の要素をあえて二者の関係で列挙すると、病みと癒し、死と再生、汚染と洗浄、穢れと禊ぎなどが想起される。個人の生活や芸術活動などの経験から、美しい死に様とか、醜い生き様があることをわたしたちは知っているように、前者と後者の概念に単純に善悪、美



醜や優劣を割り当てることは適切ではない。現実には複雑である。

患者医療者関係において、患者は無知、医療者は全能という役が割り当てられているのではないかという危険な錯覚に、患者も医療

者も知らず知らずのうちに陥り、歴史的に気づかなかつたり、気づかないふりをしたり、誤魔化したり、悪用したりしてきた。その過ちは今も常に潜在している。その芽は摘み続けるしかない。それを行うのは患者でも医療者でもない。それは互いの協力と相互依存を通じて、人間同士が織り成す営みそのものの中にある。外来だろうと入院だろうと、患者役だろうと医療者役だろうと、関わりの瞬間瞬間に、互いの経験をふりかえる学びの機会がある。それぞれがそんな人間探究の旅を往く責任を負っている存在であることを忘れなければ、少しは危険を回避できるだろう。

具体的にはこんな具合だろう。つまり、わたしが間違いに気づかないでいる時は、一人の同胞として、優しく諭してほしい。それでもわたしが意固地な場合、あなたのご自身の責任を果たしたのだから颯爽と振る舞い、わたしをそっとしておいてほしい。そしてまた学びの機会が巡ってくるように祈ってほしい。患者たちや医療者たちが織り成すこのような学びの共同体が非現実的であるとは思えない。



「あらゆる人間のうち最も怠慢なるものは、無益なる論争をし、兄弟より自ら優らんことを望む者である。」

ミルザ・ホセイン・アリ (1817-1892)

参考文献 (2023 年夏 およそ参照した順に記載した):

- ・ 暉峻淑子. “豊かさは対話の中に” 老年看護学 2020. 24(2):9-16.
(https://www.jstage.jst.go.jp/article/jagn/24/2/24_9/_pdf/-char/ja)
- ・ J Fraser. “Professional autonomy - Is it the future of general practice?” Aust Fam Physician. 2006 May;35(5):353-5.
- ・ 片岡浩史, 佐藤優. “教養としての「病」” インターナショナル新書, 2023.
- ・ 門田守人. “日本医学会の歴史とアカデミアの社会的責務” Organ Biology 2020. Vol. 27No. 2:107-112.
(https://www.jstage.jst.go.jp/article/organbio/27/2/27_107/_pdf/-char/ja)
- ・ 平岡諦. “プロフェッショナル・オートノミー: 日本医師会の情報操作と医療界のガラパゴス化” MRIC by 医療ガバナンス学会. 2010 Vol. 266, 268, 270, 282, 303.
(それぞれ <http://medg.jp/mt/?p=1076>, 1078, 1080, 1092, 1113)
- ・ 平岡諦. “医師が「患者の人権を尊重する」のは時代遅れで世界の非常識 日本の医の倫理の欠点、その歴史的背景” ロハス・メディカル, 2013.
 - ・ 折田医院月報三十年編集委員会 編 “折田医院月報三十年 人間探究の旅” 医療法人社団折田医院, 2016.
 - ・ 吉仲丈志 編. “七三一部隊と大学” 京都大学学術出版会, 2022.
 - ・ クリスティン・パイパー 著, 北條正司 訳. “暗闇の後で 豪州ラブデー収容所の日本人医師” 花伝社, 2023.
 - ・ 川上弘美 選 “精選女性随筆集 幸田文” 文春文庫, 2023.

医師の不在のお知らせ

【 11月 】

- ・ 16日(木) ~ 22日(水) … 清水医師
- ・ 17日(金) … 大竹医師
- ・ 24日(金) … 永嶋医師
- ・ 29日(水) … 一岡医師

【 12月 】

- ・ 1日(金) … 田中医師
- ・ 9日(土) … 田中医師
- ・ 16日(土) … 中村医師

【 年末年始 】

- ・ 令和5年12月29日(金) ~ 令和6年1月3日(火)



インフルエンザの予防接種をおこなっています。

10月2日(月)よりインフルエンザワクチン接種が全年齢で開始されます。詳しくはホームページをご確認ください。

オンライン診療を開始いたします

国の方針により、新型コロナウイルスによる特例措置で認められていた電話での診察は7月31日で終了となりました。それに伴い、8月より“0歳から中学生までの方”を対象としたオンライン診療をさせていただきます。詳しくはホームページをご覧ください。

マイナ保険証をご利用いただけます

＜オンライン資格確認について＞

- ・ 当院は診療情報を取得・活用することにより、質の高い医療の提供に努めています。

4月から診療報酬の改定により、下記の点数が加算されます。

マイナ保険証を持参された場合(初診): 2点

通常の保険証を持参された場合(初診): 6点・(再診): 2点

